

ます。99 才になっても明るく人を笑わせる、それが田中会長です。瓜生岩子賞も受賞しています。そして社会貢献財団賞も受賞しています。私はいろいろな方をクラロンに連れて行ってます。クラロンの障害者雇用の取り組みは国の福祉政策の 10 年先を行ってると言った国会議員、市長、町長、東電副社長と、皆障がい者の仕事の速さと正確さに驚いています。率先して障がい者雇用に力を入れたのは、2002 年亡くなられた田中会長の夫田中善六さんです。この標語は田中善六さんが残した言葉です。田中さんは日本兵が多く亡くなったビルマ戦線に小隊長として行っていました。田中さんは、部下に生きて帰り日本を復興させるんだと、自決は許しませんでした。20 人の小隊で亡くなったのは 1 人だけでしたが、田中さんは銃撃戦で片耳の聴力を失いました。このような体験から最初から障がい者雇用を当たり前のように行ってきたのです。これが 99 才の誕生日の田中会長と私です。こう

「笑顔を絶やすな  
あいさつはしたか  
感謝はしたか  
油断はしないか  
満足の日だったか」



## 援 護 化 学 (株)

代表取締役社長 滝 田 吉 宏

〒963-8834 郡山市図景 1-17-24  
TEL 932-0440 FAX 922-9119

いう会社があるという事を皆さんの記憶に是非残して頂きたいと思います。是非クラロンに足をお運び下さい。

最後に、東日本大震災から 13 年 9 ヶ月ですが、私はこの間本を 3 冊出しています。「大和田ノート」「続大和田ノート」そして今年の 9 月に出した「続々大和田ノート」全て福島民報社から出版しています。何故このタイトルにしたかというと、私は震災当時浜の方へ行った時いろいろなものを見てきました。遺体安置所にも行きましたし目を覆うような亡骸も見ました。そういったものを見て会社に戻った時、会社の仲間にも妻にも子供にも言えませんでした。でも災害の現状を誰かに聞いてもらえないと、俺はもう災害報道を続けていく事はできない、心の支えになってくれる人はいないのだからかと思った時、一番に思い浮かんだのは会津美里町の車椅子のエッセイスト大石邦子さんでした。そして出版する時、大石さんに相談しました。そうしたらタイトルは「大和田ノート」にしないとされました。どうしてかと聞くと「あなたは私に 6,000 通の写真やメッセージを送ってきたのよ」と言いました。私はまったく記憶にありませんでした。これは「大和田ノート」を出版する時の写真です。1 冊 2,000 円です。その内 1,000 円を福島市のパンダハウス(小児がんと闘う子供達とその家族を支援する施設)に送金しています。何人泊まっても一泊 3,000 円です。福医大のがん治療の優秀さを世界が認め、この施設には世界中から治療に来ています。国内外の多くの方の助けになっています。是非「大和田ノート」お買い求め頂ければと思います。今日ここでお話させて頂いた事を大石さんに報告します。皆さんご清聴ありがとうございました。



## (株) な な み

代表取締役 七 海 正 克

〒963-8803 郡山市横塚 2-15-13  
TEL 943-3939 FAX 944-7799

# Koriyama West Weekly Report



第 20 回例会  
No. 2793

会 長／鈴木 茂 幹 事／滝田 吉宏 クラブ広報委員長／濱尾 博文  
会報・雑誌小委員長／濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長／石橋 理  
事務局／〒963-8001 郡山市大町 1-2-17 大ービル 1 階 ☎024-923-0847  
例会日／水曜日 12:30～13:30 例会場／記憶の森 郡山市山崎 305-10

## クラブ年次総会 ～次年度役員・理事発表 ゲスト卓話「父が残してくれた言葉」 ラジオ福島パーソナリティ 大和田 新氏

開会点鐘 国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

四つのテスト唱和

鈴木 茂会長挨拶

皆さん今日は。本日もご参集頂き有難うございます。ほぼ一か月ぶりに例会場に帰ってきました。秋の季節感無しにあっていう間に寒くなってしまい、気象学者が日本は四季ではなく、物凄く暑い夏と冬の二季になると言っていました。先日寿司屋で食べた相馬沖のとらふぐは大変美味しかったのですが、とらふぐ＝山口県ではなくなり、温暖化が進んできたのかなと思います。

10/21 (木)ボジョレーヌーボーの夕べ(3RC合同夜の例会)に多くのご参加有難うございました。各RC会員からも大変楽しい会であったと聞いております。しかしながら、ボジョレーヌーボーを総勢 60 名だったにもかかわらず、どうせ直ぐ日本酒を飲み始めるだろうからと会長同士で相談し、10 本しかご用意せず大不評でした。大変反省しております。

10/27 (水)早朝清掃に参加された会員の方々お疲れ様でした。駅前にはきれいで、皆さんの意識の高さというのが郡山の駅前に出ているのかなと思います。会長に就任して 5 ヶ月経ち、6 ヶ月目を迎えました。これからも頑張っ参ります。どうぞ宜しくお願いします。

出席報告 今泉雄二出席小委員長  
会員数 39 名 出席者数 23 名 欠席者数 16 名 出席率 58.97% 前回出席率 100.00%

幹事報告 滝田吉宏幹事  
12/10 (火)郡山東 RC⇒ 12/11 (水) 6:30PM クリスマス家族会 レストラン「THE」

ニコニコBOX報告 阿部治江ニコニコBOX委員  
森尾和衛会員 親知らず歯の手術を終え無事退院してきました。 鳴原健太郎会員 久々の出席です。宜しくお願いします。 関根英樹会員 お掃除に寝坊して行けなくすいません。大和田さんのお話楽しみです。 鈴木 茂会長 大和田さん宜しくお願いします。 鈴木淳弥会員 大和田さんの卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。 高橋金一会員 大和田様ようこそおいで下さいました。 濱尾博文会員 大和田様、卓話楽しみにしています。 星千春会員 新さん、毎週ラジオを聴いています。本日も楽しみにしています。 満井紀勝会員 大和田さんお久しぶりです。卓話楽しみにしています。 柳



沼克彦会員 ゲスト卓話楽しみにしていました。

阿部治江会員 今泉雄二会員 遠藤雄一会員

金田岩光会員 佐藤克敏会員 鈴木功一会員

高橋晋也会員 滝田吉宏幹事 丹生修一郎会員

堀江正喜会員 宮本 孝会員

今週のニコニコ大賞 森尾和衛会員

クラブ年次総会

～次年度役員・理事発表

鈴木淳弥会長エレクト

会長／鈴木淳弥 会長エレクト／滝田

吉宏 副会長・幹事／高橋晋也 会

計／橋本忠雄 SAA／石田 弘 ク

ラブ管理運営委員長／佐藤克敏プロ

グラム委員長／関根英樹 会員増強・維

持委員長／鈴木功一 クラブ広報委員長／森尾和衛 奉仕

プロジェクト委員長／金田岩光 直前会長／鈴木 茂 親

睦活動委員長／宮本 孝 戦略計画委員長／高橋金一

ゲスト卓話 「父が残してくれた言葉」

ラジオ福島パーソナリティー

大和田 新氏

今日はこのような貴重な時間を頂き

ました事を心より感謝申し上げます。

本当に有難うございます。

私は神奈川県横須賀市の出身です。

横須賀と言うと米軍の海軍基地がある

所です。私は海も山も川も大好きで、海と共に育ってきまし

た。福島県にも浜通りには美しい海がありますが、原発事

故で避難生活を送っている方が 26,000 人以上いらっしゃる

という現状も忘れてはいけないと思います。私は、あの 13

年 9 ヶ月前の東日本大震災が無ければ、今頃大好きな故郷

に戻って大好きな海軍カレーを食べながら友達とホッピーを

毎晩飲んでいたんじゃないかなと思います。私の人生を大

きく変えてしまったのが東日本大震災であるという事です。

私の両親ですが、母は小学校、父は高校の教師でした。

母は 59 才という若さでがんで亡くなりました。父は 89 才ま

で頑張り、次の日で 90 才という日に亡くなったので、実質

90 年生きたという感じ です。

皆さんは横須賀出身の昭和の歌姫と言うと誰を思い浮か

べますか？そうです山口百恵です。なんと私の母は百恵さん

の小学校 4～5 年の担任でした。どうしても百恵さんの成

績が知りたくて、母に聞いても勿論教えてくれませんでした。

しつこく何回も聞いて、とうとう教えてもらったところ、百

恵さんは 5 段階評価でオール 5 だったそうです。勉強だけ

なくスポーツもできたようです。皆さんご存じのように彼女

はシングルマザーの母に育てられ、母のパートで生活してい

たので生活は苦しく、高校進学は諦めていたそうです。で





もその後、彼女の歌声が彼女の生活を、人生を変えてくれました。私にとっても山口百恵さんの存在というのは、非常に大きいと感じています。

私の父は高校の国語教師で言葉には凄くうるさかった。父が絶対に使わせてくれなかったのがヤバイという言葉で、ヤバイというのは危ないという意味合いでしたが、今では例えば競馬で大当たりした時の表現にも使うようになってきています。昔、牢屋を「厄場、やくば」と言いそれが短くなり「ヤバ」。牢獄でよからぬことをしている囚人が看守に見つかりそうになると、「ヤバ、ヤバ」と言い合って囚人どうして看守の存在を教えあったとも伝わります。父はそういう事を良く知っていたからです。

そしてもう一つ絶対に許してくれなかった言葉がありました。それは8月15日の表現です。終戦記念日という言葉を我々メディアでは使っていましたが、戦争を経験して、特に東京大空襲時の目の前の川を流れてくるご遺体や、体中焼けただれた姿を見ている父は決して許してくれなかった。記念日とは誕生日のように何かめでたいものを祝うようだと、戦争に負け、これからどうやって生きて行けばよいのか、日本が無くなってしまうかもしれないと思った日を、とても記念日とは言えず、父は8月15日をずっと敗戦の日と言い続けていました。そんな父ですが、毎晩大好きなウィスキーを飲んで酔っ払うと必ずある歌を歌っていました。それは(※大和田氏スーダラ節を熱唱! )でした。

父が私に残してくれた言葉が忘れられません。

「縁と恩を大切に生きろ」

「俺が死んでも仕事を休むな」

母は横須賀で亡くなりましたが、父は2015年6月1日(月)に福島で亡くなりました。その日はラジオ福島で夜7時から2時間震災報道番組の生放送で、インターネットで世界中に発信でした。3日(水)は講演依頼、5日(金)はKFBで番組収録とほとんど毎日仕事がある状況で、どうしたらよいのかという時、私の友人で福島市の曹洞宗浄圓寺ご住職、私はつるりん(鶴林)和尚と言ってますが、阿部光裕氏に相談したところ、全部俺に任せろと、火葬も葬儀も一切、私よりも10歳以上年下のつるりん和尚に任せました。それもお縁だと思います。父が死んだその日から一週間、父の言葉通りに私は仕事をしていました。これが現実でした。「縁と恩」の大切さを実際のいろいろな方から学びました。

昨年の3月に私にがんが発見されました。ステージ4でした。5年生存率60%と言われました。これで死ぬのだと思いました。福島日赤病院の医師からは直ぐに摘出手術と言われました。放射線治療はと尋ねると、骨に転移していると思われるのでその選択は難しいと。私は骨に転移しているかどうかちゃんと検査して下さいと言って、一泊二日で検査して、その結果骨には転移してない事が分かりました。今度は放射線治療ができるという事でした。放射線治療ができるのは福島医大と伊達市にある北福島医療センターの二か所で、私の自宅から福島医大は3分なので、当然日赤の

先生は医大に行くと思っていたのですが、私は北福島医療センターに行くことにしました。車で一時間ですが、北福島医療センターの放射線科の先生が私と友達で、同い年で今野明先生と言いまして、震災前は南相馬の小高で外科病院開業していました。

南相馬市の方達は新潟県の三条市に避難したのですが、その時今野先生は相馬の住民と共に三条市に行き、そこで住民の心と体の健康をケアしました。三条市の市長に非常に評価され、三条市が小高を支援してくれたのです。震災で被災した現場を私達は見なければならぬ、それが大切な事だと市長が発案、バス2台をチャーターし三条市の住民を小高に連れて行きました。その後何度も三条市の市民が、がれきの撤去等いろいろやってくれました。そういう繋がりを作ってくれたのが今野先生です。

放射線治療は、北福島医療センターで昨年の10月から、ほぼ毎日一日20分痛くも痒くもなく終わります。終わってから毎回先生とお話をするのですが、治療は20分、30分はダジャレが面白い先生とくだらない話をしています。そうすると看護師さんから、次の患者さんが待っているののでいい加減にして下さいと言われ私は帰ります。それが2か月続きました。今は毎日抗がん剤を飲んでます。そのせいで毎日睡眠不足で、3、4時間しか眠れません。食欲も落ちました。アルコールは全くダメになりました。以前は一日5合は飲んでいたのに。しかし、がんの数値はぐっと下がりました。来年の6月いっぱいまで抗がん剤を飲み続け、そして3か月に一回抗がん剤の注射をし、このがんと闘っていこうと思っています。今は戦うよりがんと一緒に楽しく生きて行こうというのが現実です。

私のがんだという事を放送で公表した事によって、がんと闘っている方達から、一緒に頑張ろうという応援メッセージをたくさん頂きました。また、友人の医師からダンボール2箱分の甘酒が送られてきました。甘酒は飲む点滴だそうです。今もその甘酒を飲み続けています。日本人の2人に1人はがんで、3人に1人はがんで死にます。そういう時代ですのがんにならないなんて事はあり得ません。私は人間ドックによって自分ががんだという事が分かりましたので、皆さんもその機会を大事にして下さい。

父がよく言っていた「縁と恩を大切に生きろ」という事を、本当に教えてくれる方がいらっしゃいます。その方をご紹介します。

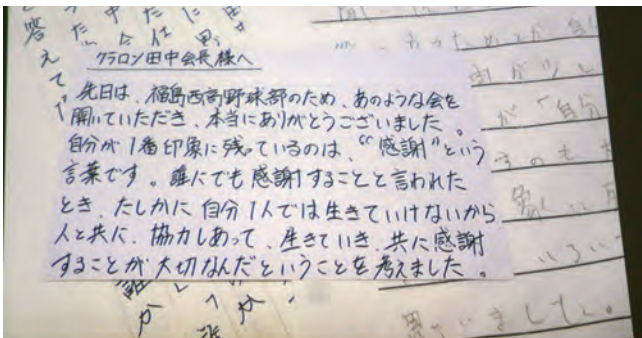
福島市のクラロンという会社の会長をしている田中須美子さんです。須賀川出身で現在99才の現役代表取締役会長です。クラロンは昭和31年創業です。会長の左側に居るのが、今は退職していますが撮影当時85才の営業部長です。90代の会長と80代の営業部長です。この



ような会社が福島市にはあるのです。『日本でいちばん大切にしたい会社』という本で、2015年クラロンは日本でいちばん大切にしたい会社No.1に選ばれたのです。その理由はいっぱいありますが、高齢者、女性、障がい者の雇用率が非常に高いという事が先ず上げられます。社員135名の内、8割が女性で、障がい者が35名です。障がい者雇用率25%をはるかに超えているのが、このクラロンという会社です。135名の内、正社員は135名、という事はパート・アルバイトは一切受け付けていません。定年は60才ですが定年後も働いている方がほとんどです。その方達もパート・アルバイトとは認めず全員社員とする。それがクラロンという会社です。

皆さん方経営者の方々にお聞きいたします。会社にとって、企業にとって一番大切な事は何でしょうか。もちろん人材も永続する力も大事ですが、やはり利益です。黒字です。このクラロンいう会社は常に黒字なんです。2011年あの大震災がありましたが、クラロンは体操着メーカーですので、浜通りの小・中・高の体操着の6割がクラロンだったので、そこが全滅でした。田中須美子会長は2011年原発事故でクラロンは潰れると思っていたそうです。でもそれをさせなかったのが従業員の皆さんでした。従業員が徹底的に仕事をしたんです。それがクラロンという会社です。女性の雇用率が高い、障がい者の雇用率が高い、そして経営力が非常に高いという事です。障がい者の作るものは物凄くいいんです。例えばケーキにしても手抜きは無いのです。手抜きするのは我々健常者です。障がい者の方は手抜きをする事なんて考えてない。ですのでクラロンの製品は物凄く評価が高い。それが日本一になった理由です。今、田中須美子会長は99才ですが、8年前91才の時、福島市にある県立福島西高校の野球部の生徒40名が、企業見学でクラロンを訪ね、田中須美子会長の講演を一時間聴いたのです。その時の感想文がこの手書きのものです。この中に忘れられない感想文があったので紹介させていただきます。

皆さん方経営者の方々にお聞きいたします。会社にとって、企業にとって一番大切な事は何でしょうか。もちろん人材も永続する力も大事ですが、やはり利益です。黒字です。このクラロンいう会社は常に黒字なんです。2011年あの大震災がありましたが、クラロンは体操着メーカーですので、浜通りの小・中・高の体操着の6割がクラロンだったので、そこが全滅でした。田中須美子会長は2011年原発事故でクラロンは潰れると思っていたそうです。でもそれをさせなかったのが従業員の皆さんでした。従業員が徹底的に仕事をしたんです。それがクラロンという会社です。女性の雇用率が高い、障がい者の雇用率が高い、そして経営力が非常に高いという事です。障がい者の作るものは物凄くいいんです。例えばケーキにしても手抜きは無いのです。手抜きするのは我々健常者です。障がい者の方は手抜きをする事なんて考えてない。ですのでクラロンの製品は物凄く評価が高い。それが日本一になった理由です。今、田中須美子会長は99才ですが、8年前91才の時、福島市にある県立福島西高校の野球部の生徒40名が、企業見学でクラロンを訪ね、田中須美子会長の講演を一時間聴いたのです。その時の感想文がこの手書きのものです。この中に忘れられない感想文があったので紹介させていただきます。



「田中会長から学んだ事 今回はクラロンに訪問させて頂いて有難うございました。僕はクラロンに訪問させて頂いた

時、最初の挨拶や僕たち高校生に対する態度が、他の会社とは全く違うなと感じました」ここなんです。高校生は純粹じゃないですか。だから、この忙しい時に企業見学になんて来るんだ、という態度をする会社がいっぱいあるのですが、高校生はそれが分かるのです。今までそういう会社が多かったのに、「今回のクラロンという会社の僕達高校生に対する態度が他社時全く違うと感じました」これがクラロンなんですよ。「クラロンは従業員135名中100名が女性で、障がい者雇用にも力を入れており、普通の会社では成しえなかった障がい者雇用率30%障がい者雇超えて、社会にとっても貢献しています。僕は田中会長を初めてこの人が91才だなんてびっくり、素晴らしい喋り方でした。田中会長に貴方は何故働くのですかと聞きました。すると田中会長は、人の役に立つためよ、感謝されるためよ、誰かに必要とされるためよ、と答えて下さいました。誰かに必要とされる事で、人に役立てたり、助けてもらえる事ができるんだと実感しました。また田中会長は、尊敬する先生を見つける事、友人を見つける事、そして一番大切なのは人生で最も愛する人を見つける事を若者にきちんとやってほしいと仰いました。僕は中学校でとても尊敬する先生に出会いました。その先生は目に障害を持っており、健常者の2%の視力しかありませんでした。それでも先生は教え方が熱心で、その姿勢が評価され、全国の教師の道德の賞を受賞しました。僕は田中会長が仰っていた感謝するという事をもう一度考え、クラロンを訪問する事を促してくれた増田先生、僕達のような高校生でもしっかりと態度で迎えてくれたクラロンの従業員の皆さん、そして僕を産んで育ててくれた親に初めて感謝の気持ちを表したいと思いました」実はこの17才の高校生は、浪江町請戸から福島に避難してきていたのです。父親は漁師で船も家も流されました。原発が爆発してからは漁師の仕事はできず、毎日酒を飲み寝ていました。母親のパートで妹と一家4人何とか暮らしていましたが、少年は行きたかった大学進学もあきらめざる負えませんでした。永年やってきた漁師の仕事ができない状況の父親を、少年は全く理解できず、仕事をしない父親を恨んでました。でもクラロン田中会長の話を聴いて初めて両親に感謝する事を改めて学んだのです。仕事を無くすという事が、どんなに辛い事だったか、悲しい事だったか、少年はやっと分かりました。その後少年は卒業したら就職をして早く両親を楽にしたいと伝えました。

たった1時間の田中会長の話を聴いただけで、少年の生き方が、そして家族の生き方が変わりました。少年は東京の企業に就職し、毎月家族に仕送りをしています。大学進学の夢は妹に託し、その資金を出したのは兄です。父親はトラック運転手として再スタート、アパートから一戸建て住宅へ移りました。この写真は企業訪問の高校生の感想文を読んだ田中会長の感想文です。高校生1人1人に直筆で感想文を送っています。そんな企業有りますか?それがクラロンです。92才の誕生日の時、福島西高校の生徒が田中会長に誕生日おめでとうのメッセージを送りました。嬉しそうに笑ってい

## 高橋金一法律事務所

所長 高橋金一

〒963-8878 郡山市堤下町1-44  
TEL 935-5770 FAX 935-5772

## (株) 鈴 弥 洋 行

代表取締役社長 鈴木淳弥

〒963-8044 郡山市備前館2-6  
TEL 922-5479 FAX 933-8172

## プルデンシャル生命保険(株)

副部長 鈴木茂

〒963-8005 郡山市清水台1-6-21 山根郡山ビル8F  
TEL 991-9561 FAX 934-2513

## 平 晋 建 設 (株)

代表取締役 高橋晋也

〒963-0101 郡山市安積町日出山字大洲河原142  
TEL 944-2266 FAX 942-5690